

From 0 to 1∞
A Colorful World Awaits

THIRDS THROUGHS

CORPORATE GUIDE

明日の社会・暮らしを支える SHIRAIISHIのビジネス

白石グループは、軽質炭酸カルシウム製造を中心とする「白石工業株式会社」をはじめ、化学品専門商社の「白石カルシウム株式会社」、研究開発を行う「株式会社白石中央研究所」、そして海外拠点を含むグループ会社22社が一丸となり、多角的な事業展開を行っています。創業の原点は白色の炭酸カルシウム。歯磨き粉やチョークにはじまり、ゴム・紙・農材・飼料・食品など、100年の歴史の中、変化する人々の暮らしとともに、さまざまな場面で活用されてきました。炭酸カルシウムからはじまった私たちの歩みは、多くの素材を用いてグローバルに多様化する社会のニーズに応えるべく、大きく広がっています。原点であるシロからイロへ。人々の暮らしをよりイロドリ豊かにするために。

OUR WORKS



製造

▶P4~6

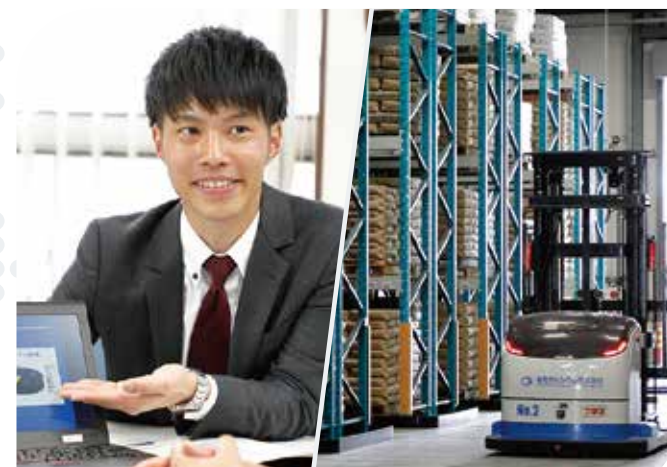
お客様の用途に応じた『+αの機能』を目指し、炭酸カルシウムを製造しています。



仕入・加工

▶P7~8

お客様のニーズに合わせた材料の仕入れや、作業環境改善等最適な形への加工をご提案します。



販売・物流

▶P8~9

国内外に広がる物流ネットワークで、多品種・少量でも欲しい時に欲しい場所へお届けできます。

白石工業株式会社 炭酸カルシウムのスペシャリストで在り続ける **パイオニアメーカー**

Shiraishi-Omya GmbH

白石カルシウム株式会社 豊富な品揃えで提案型営業を行う化学品の専門商社

東洋ファインケミカル株式会社 アグロケミテック株式会社 白雲石工業株式会社

研究開発

▶P4~6

基礎研究～サンプル作製、評価まで対応。ナノスケールの高い技術と豊富なノウハウで課題を解決します。

株式会社 白石中央研究所
オーダーメイドに応える専門研究機関

白石カルシウム(上海)国際貿易有限公司
白石カルシウム(香港)有限公司
台石股份有限公司
韓石インターナショナル株式会社
白石カルシウム(タイランド)株式会社

白石カルシウム(マレーシア)株式会社
白石カルシウム(シンガポール)株式会社
白石カルシウムインドネシア株式会社
白石カルシウム(インドア)株式会社
Shiraishi America Incorporated

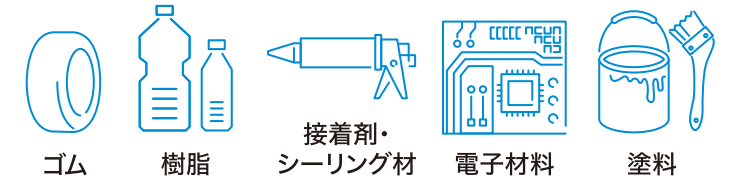
上海東武橡膠中心有限公司
白石オートプロファイルズ(タイランド)株式会社

白石グループの ビジネスフィールド

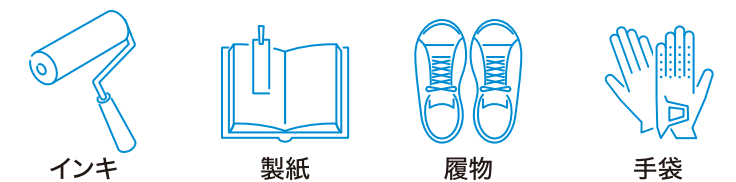
自動車資材 / 産業資材 / 生活資材 / 食品アグリ・ヘルスケア資材を中心として、多様な産業へグローバルに貢献しています。

自動車資材
▶P10~11

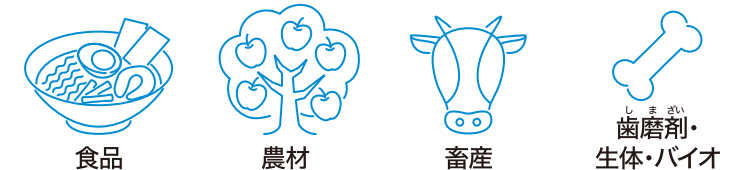
産業資材
▶P12~13



生活資材
▶P14~15



食品アグリ・ヘルスケア資材
▶P16~17



研究開発・製造

「炭酸カルシウム」は、古くからあらゆる産業分野において、増量剤や充填剤として利用されてきました。
 白石グループでは、その古くから馴染みのある炭酸カルシウムを、“ただ量を増やすため”としての役割だけでなく、『+α(プラスアルファ)の機能』を持たせた機能素材にすることを実現してきました。
 特にお客様の製品における課題、製造工程上の課題を解決するべく、日々研究・製造を続けています。

※増量剤(extender)とは…かさ増しとコストダウンを目的に添加する充填剤(filler)で、主に粉体が使われます。

自給率100%の地下資源「石灰石」

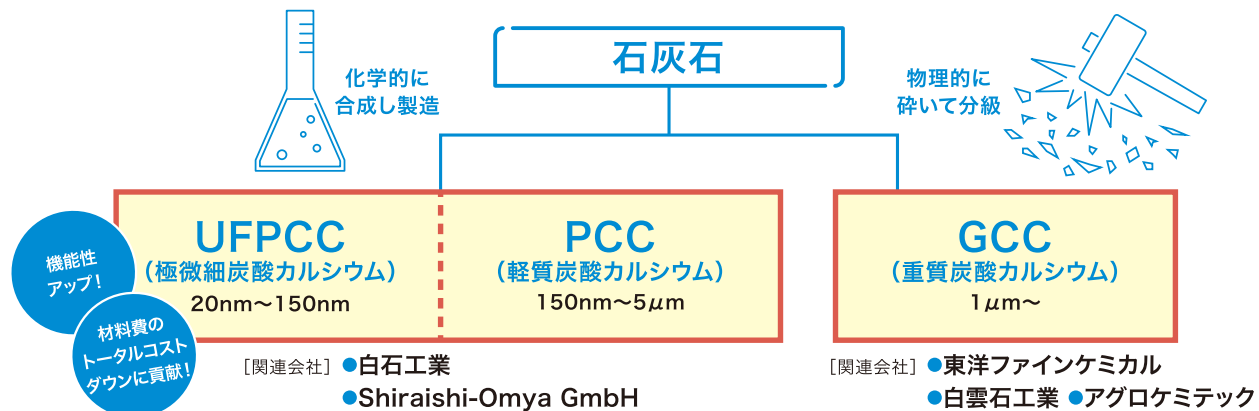
白石グループが創業以来、取り組んできた炭酸カルシウムの原料となる「石灰石」は、国内で自給できる数少ない地下資源です。
 その推定埋蔵量は、現在の使用量に換算すると100年分。また、その活用領域は多岐にわたり、まだまだ未知の可能性を秘めています。
 白石工業は現在も、超高純度の炭酸カルシウム合成や先端医療分野への展開など、業界のパイオニアとして新たな開発に挑戦しています。



✓ PCC・GCCをそれぞれ製造し、取り扱っています

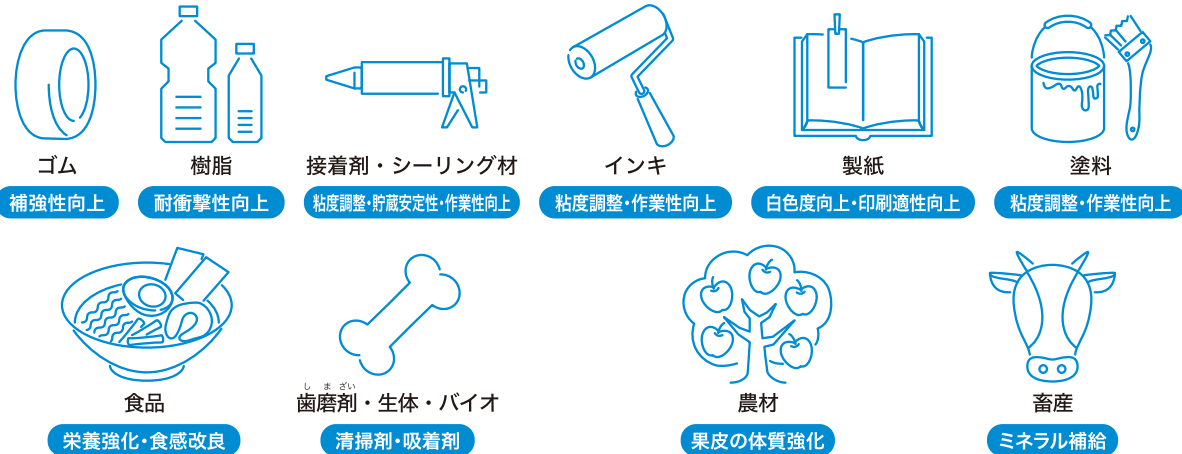
炭酸カルシウムは、製造方法によって大きく2つに分類されます。白石グループでは、GCC(重質炭酸カルシウム)・PCC(軽質炭酸カルシウム)のほか、PCCの中でもより細かい粒子から成り、微細ながらも基材に分散しやすい「UFPCC(150nm以下の表面処理済コロイド炭酸カルシウム)」の製造について、業界最先端の技術を持っています。
 その高い技術力で、高機能化や作業性の向上、安心安全等、分野によって様々な『+αの機能』を持たせた素材の供給をご提案できるのが、白石グループならではの強みです。お客様の用途に応じて、各種製造・取り扱いを行っています。

※『+αの機能』を生み出す白石の技術についてはこちらを参照 →P6



※1ナノメートル(nm)=0.001マイクロメートル(μm)=髪の毛の約10万分の1の太さ、1マイクロメートル(μm)=0.001ミリメートル(mm)

白石グループで提供する『+αの機能』例



※UFPCC:Ultra Fine Precipitated Calcium Carbonate,PCC:Precipitated Calcium Carbonate,GCC:Ground Calcium Carbonate

✓ 軽質炭酸カルシウムの生産拠点は、国内のみならずヨーロッパまで

設立当時に操業を開始した、鉱山に近い群馬県の白艶華工場と高知県の土佐工場。
 お客様の製紙工場の近くで操業を開始した、静岡県の不二工場。
 特殊な製品を少量単位で生産可能な大分県の津久見工場。
 加えて2007年には、食品添加物専用の合成炭酸カルシウム工場である富士川工場が静岡県で操業を開始しました。
 同年にはスイスのOmya社との合併企業を設立し、翌2008年秋よりヨーロッパでも製造を開始。
 日本・ヨーロッパで生産し、アジア・アメリカ・ヨーロッパへグローバルに供給しています。



✓ 客観評価に基づき、食の安心安全を徹底しています

白石工業では、食品添加物用の軽質炭酸カルシウムを静岡県の富士川工場で製造しています。
 同工場は、アレルギーやコンタミネーションを徹底排除。
 さらに安心安全を担保するため、第三者機関による認証を取得。
 徹底した食品トレーサビリティを実施しています。

※コンタミネーションとは…異物混入のこと



【取得している主な認証】

FSSC 22000 FSSC 22000認証

非営利団体「国際食品安全イニシアチブ(GFSI:Global Food Safety Initiative)」が認証する食品安全認証スキーム。HACCP原則を採用するISO22000をベースとして、さらに具体的で厳しい要求が課されます。

JMA 認定

非営利団体「日本食品工業協会」が認定する食品安全認証スキーム。HACCP原則を採用するISO22000をベースとして、さらに具体的で厳しい要求が課されます。

JAFPA GMP 食添GMP(Good Manufacturing Practice)認証

食品添加物業界における品質管理のさらなる高度化を目的として、日本食品添加物協会が定めた自主基準。食品添加物の製造、および品質管理の手順が、要求レベルを満たしていることを同協会が認定します。

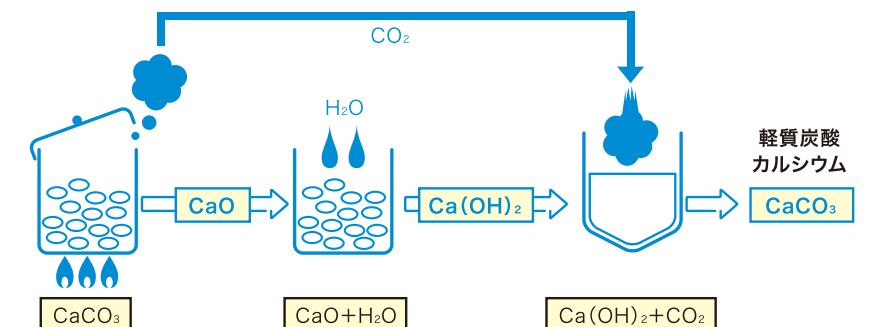
ハラール認証・コーシャ認証

イスラームの方々に安心してご利用いただけるハラール認証(一部製品)、ユダヤ圏への販売が可能になるコーシャ認証も取得しています。

白石発明の炭酸カルシウム製造方法「炭酸ガス化合物法」

国産の品質の良い石灰石を原料として焼成。得られた生石灰(CaO)を水和します。生じた消石灰スラリー(Ca(OH)₂)に、石灰石の焼成時に発生する炭酸ガスを反応させ、炭酸カルシウムを合成させる製造方法です。(富士川工場は食品用炭酸ガスを使用)

※1909年、白石工業創業者である白石恒二が発明した「白石式軽微性炭酸カルシウム製造方法」が起源です。



研究開発・製造

✓『+αの機能』を生み出す白石の技術で、お客様の“困った!”を解決

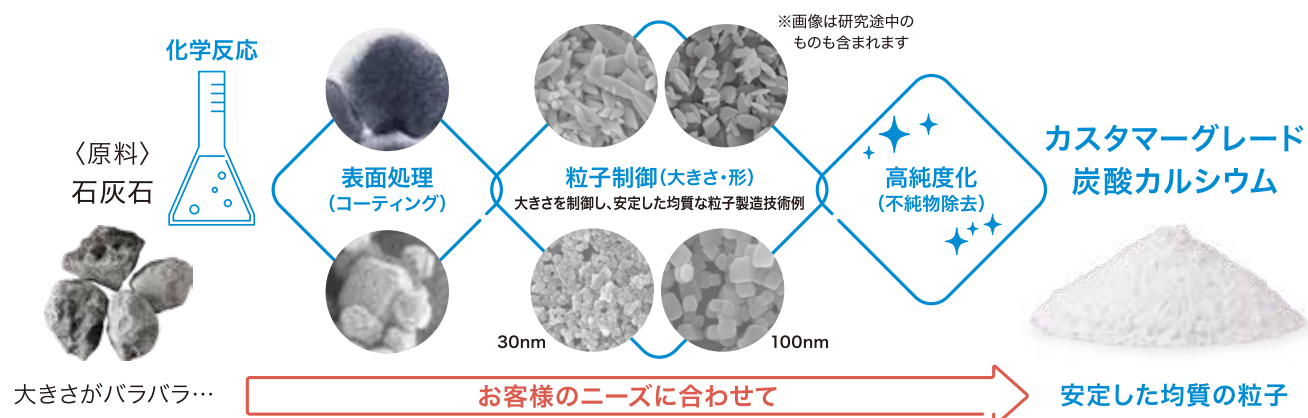
お客様の製品や、製造工程上の課題を解決するため、[関連会社] ●白石中央研究所
 まずはおお客様の製品における要求品質を入念に把握することからはじめます。
 白石グループ製品の粒子の形・大きさ・表面を変化させ、お客様の製品の品質項目にどのような影響を及ぼすのかを
 幅広い研究範囲それぞれに対応した、白石中央研究所の豊富な分析機器と技術ノウハウにより見極め、
 “お客様の課題を解決する機能素材”、つまり『+αの機能』を生み出しているのです。

基礎研究

「UFPPC」をはじめとする高機能素材開発の要

粒子制御・表面処理・高純度化の3つのコア技術から、炭酸カルシウムのスペシャリストである研究員が日々研究を行っています。炭酸カルシウムの粒子にさまざまな形・大きさを生み出すための条件や原理の解明、粒子の状態をよりわかりやすく把握・観察する等、日夜炭酸カルシウムに向き合う基礎研究をグループ内で行うことができるのが、白石グループの強みです。
 このような環境が、粒子自体の原理を研究することによって生み出された「UFPPC」(P4参照)をはじめとする高機能素材や、未来に向けた『+αの機能』の発見・創造の可能性を広げ続けています。

学会・論文は
 こちらから



応用研究

グループ内でサンプル作製から評価まで可能

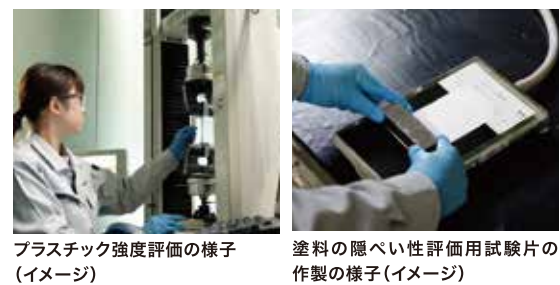
お客様の課題に応えるために、形や大きさ、表面処理の異なるさまざまなサンプルを作製し、機能性をはじめとする評価や検証も行っています。サンプル作製は、幅広い分野で対応可能。お客様が自由に使用できる、開放試験室も用意しています。

[炭酸カルシウムにおける機能性実例紹介※一部]

- 粒子への表面処理 ⇒ シーリング材に使用した場合、粘度が高く垂れづらくなった
- 大きな粒子を使用 ⇒ プラスチックに使用した場合、強度が高くなった

[サンプル作製の分野例]

- 自動車資材(ゴム・プラスチック) ●産業資材(シーリング材)
- 生活資材(紙・印刷インキ) ●食品(かまぼこ・乳飲料)



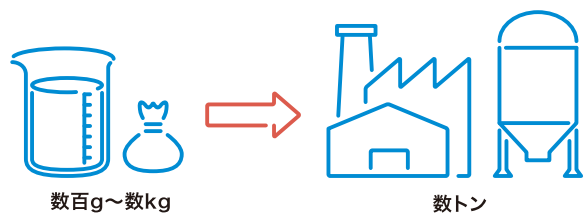
開放試験室はこちらから



製品開発

ラボレベルから実機レベルまで対応できます

上記のような基礎研究・応用研究を行った上で、研究所のラボレベルからお客様の現場(工場等)の実機レベルにて、任意の数量で製品をご用意することが可能です。



仕入

お客様のニーズに合う材料を、国内外問わず各地から確実に仕入れることができます。豊富な商品群でご要望にお応えします。

✓最適なコストバランスで購買・調達をコーディネート

お客様の必要な材料との相性・組み合わせによる機能と全体のコストバランスをみながら、最適なトータルコーディネートをご提案します。グループ内に商社機能も有しているため、炭酸カルシウム以外の素材であっても、豊富な商品群から対応します。

〈商品例〉



加工

仕入れた材料と組み合わせ、作業環境の改善をお手伝いできるほか、保管・計量・混練作業の代行など、お客様のニーズに合わせて、必要なカタチに素材を加工します。

▶ 粉体加工

表面処理においては、お客様に最適な表面処理剤を選定し、各種フィラーの特性を最大限に生かしながら、分散性や補強性の向上、濡れ性の改善といった高付加価値を創出します。また、粉碎・分級による徹底的な粗粒子除去を通じて、製品不良率の低減や表面肌向上への貢献もお任せください。お客様ご用命の混合や計量による納品も請負います。計量ミスの低減・作業環境の改善など、ニーズに応じてさまざまなご提案も可能です。

[関連会社] ●東洋ファインケミカル株式会社 ●アグロケミテック株式会社



▶ コンパウンド/マスターバッチ

各種熱可塑性樹脂に染・顔料または添加物(無機フィラー等)を混ぜ合わせ、ペレット状に加工します。これにより、保管・計量・混練作業を簡略化。ポリマーへの特性・機能付与を容易に行うことができ、品質安定化を達成します。扱いの難しい粉末・液状材料をペレット化することにより、効率よく計量・配合ができます。さらに、粉塵等の発生を抑えるため、作業環境の改善にも役立ちます。



コンパウンド

加工商品は
こちらから



▶ ゴム練り

配合設計に基づいて原料ゴムに配合剤・充填剤を均一分散させるゴムコンパウンド技術と、生産管理体制によって高品質なゴムコンパウンドを提供し、多様化・高度化するお客様からのニーズに応えます。



[関連会社]

●上海東武橡胶中心有限公司

▶ ラボ機による少量試作とサンプルを提供いたしますので、お気軽にご用命ください

▶ ゴム成形

自動車用のゴム部品を受託して成形加工しています。材料の供給に留まらず、生産ラインの一部を担うことで、品質・生産管理の最適化をお手伝いしています。



[関連会社]

●白石オートプロファイルズ(タイランド)株式会社

販売

高品質な自社製品を提供するメーカー機能、人々の暮らしに密着した原材料・製品を幅広く提供する専門商社機能の二軸で、研究開発・製造・仕入・加工・物流からお客様にピッタリなサービスをご提案します。



アフターサポート

販売後も、既存製品・商品の品質をお客様に正確にお伝えする役割のほか、お困りごとやトラブルに対してもサポートします。

物流

白石グループの国内外に広がる物流ネットワークは、お客様のさまざまなニーズに応え、より合理的なプランを提供します。

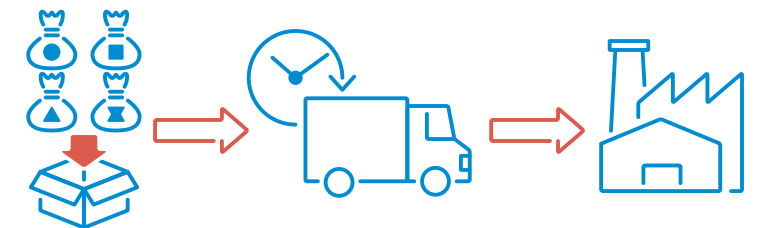
✓ 国内外のストックポイントから安定供給

白石グループには国内、海外ともに多数のストックポイント(倉庫)があります。商品管理・在庫管理を一括代行し、海外拠点同士での直接貿易も可能とする在庫販売体制です。これにより、欠品の防止や、お客様の製造現場への迅速な製品のお届けを実現しています。



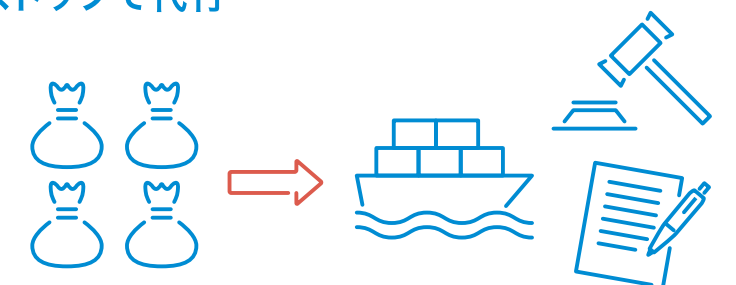
✓ 多品種・少量でも、欲しい時に欲しい場所へ

白石グループが取り扱う豊富な商品群から、多品種・少量でも、お客様のニーズに合わせた組み合わせや加工対応ができます。さらに、納品時の時間指定まで可能です。在庫管理の手間やコスト面のご相談に対応できる体制です。



✓ 国内から海外まで、配送をワンストップで代行

海外配送に関する、複雑で手間のかかる手続きを代行し、輸入先の法律に合わせて、お客様の海外展開をお手伝いします。少量オーダーでも、低コストでお客様の工場に直接配送できる物流機能を備えています。



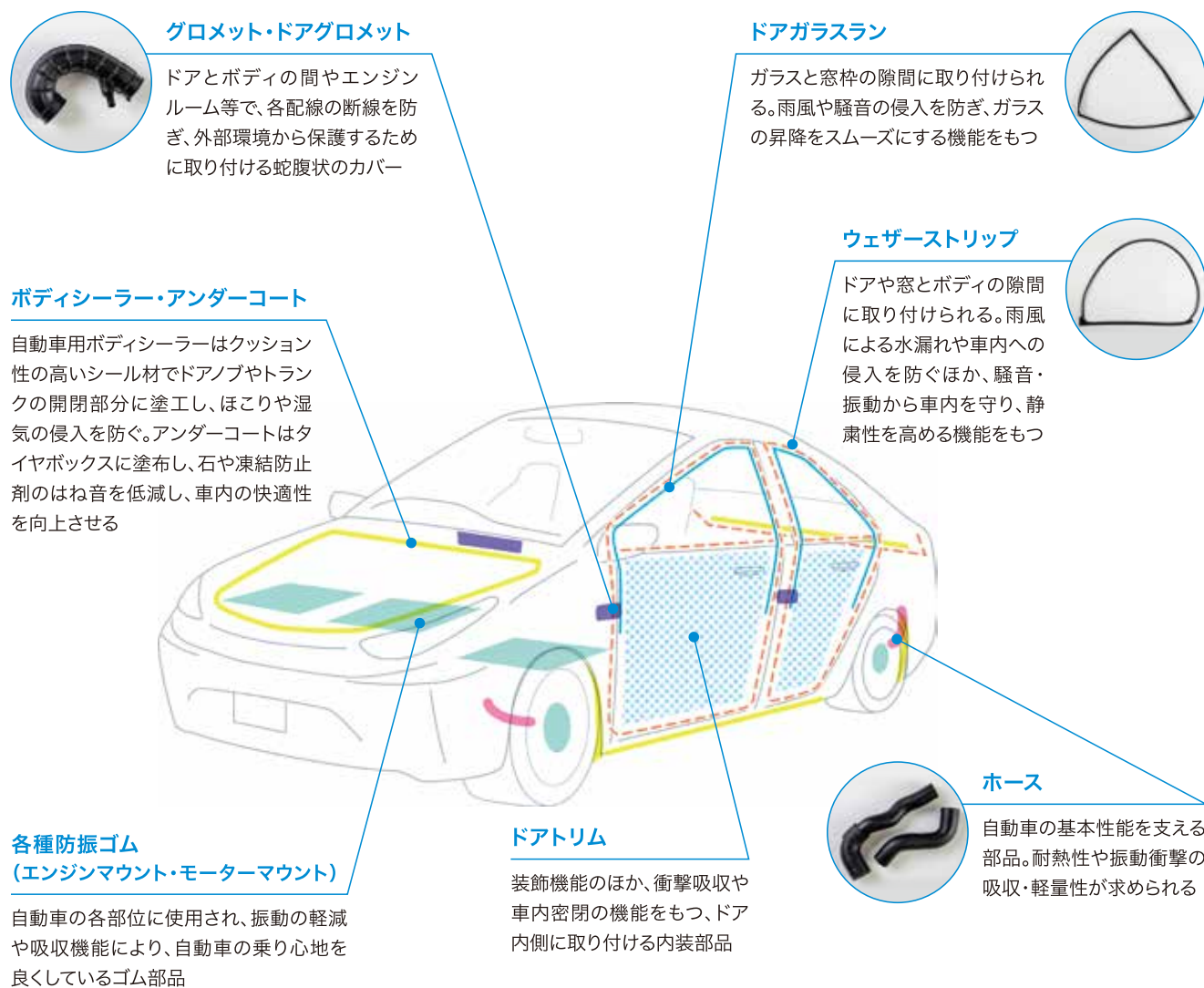
幅広いフィールドで多様な産業をグローバルに支えています

自動車資材

- 産業資材
- 生活資材
- 食品アグリ・ヘルスケア資材

材料調達から加工・練り・成形まで 自動車部品の高機能化を支える

自動車部品を製造するお客様に向けて、ゴム成形加工やゴム練りに加え、部品の高機能化を支える多くの材料を取り扱っています。
自動車は金属やガラスだけでなく、各種ポリマー素材を用いた多種多様な部品から成ります(ウェザーストリップ、各種ホース、各種防振ゴム、グロメット・ドアグロメット、ワイパー、ガラスラン、ドアトリム 等)。



自動車の製品・商品の詳細は公式ホームページの「LINE UP」各ページをご覧ください

ゴム

樹脂

代表事例



自動車用PVCゾル向けUFPCC事業をグローバル展開

自動車用PVCゾルがUFPCCに求めている機能は、高吐出性、高スプレー性と垂れ防止で、UFPCCはPVCゾルの粘性を担っています。自動車工場の塗装工程はロボットによってPVCゾルが塗られていくため、UFPCCの品質が安定しないと、自動車の生産効率低下や、PVCゾルの塗り斑が発生します。自動車産業のグローバル化に合わせて、白石工業もグローバルに販売・技術提案できるような体制を構築しています。



※写真はイメージです

エリア 日本/アジア/ヨーロッパ/アメリカ



材料だけでなく、品質や生産管理・物流の最適化も

ゴム/樹脂原料である各種ポリマー、補強剤、軟化・可塑剤、充填剤、添加剤、改質剤などの扱いはもちろん、加工半製品(マスターバッチ、コンパウンド、基布、フィラー改質、ゴム・樹脂部品)、ゴム関連商品に関わる設備まで扱っており、お客様の品質・生産管理・物流の最適化、ニーズに合わせた提案が可能です。また、東南アジアを中心とした海外でも同様のサービスを提供しています。



エリア 日本/中国/タイ/インド/ヨーロッパ/アメリカ



ご要望に沿った方法・組合せによる加工

製品の小型化・軽量化、高機能化、成形加工性向上、不良率低減、作業効率向上など様々な目的、課題解決に合わせたフィラー加工を行っています。表面処理、異物除去、粉碎・分級、混合などご要望に沿った方法・組合せの加工をご提案します。アグロケミテック 三重工場では、表面処理・分級加工の標準グレード品、及び受託加工・カスタム加工を行っています。



アグロケミテック 三重工場

エリア 日本



豊富な材料を必要な量・形で納品

白石カルシウムでは、炭酸カルシウムをはじめとした各種充填剤やカーボンブラックなどの補強剤、軟化剤、各種薬品等、豊富な品揃えの材料を、日本国内だけでなく、中国や東南アジア等、海外でも取り扱っています。上海では、材料調達だけでなく、自社でゴム練りやコンパウンド納入も可能です。さらにタイでは、ゴム部品成型まで行うことで、お客様に寄り添った形での納品にも対応しています。



上海東武橡膠中心有限公司

エリア 日本/中国/タイ/インド/メキシコなど

自動車資材

産業資材

生活資材

食品アグリ・ヘルスケア資材

適切な提案・グローバルな供給力で 建築関連市場の作業性向上に貢献

接着剤・シーリング材および塗料をはじめとする、建築材料に含まれる原材料を数多く取り扱っています。主に住宅や高層ビル等建築時の作業性向上に寄与しています。

〈 主なお客様の業界 〉

接着剤・ シーリング材

住宅や高層ビルで求められる気密性・耐震性・耐久性を実現するために、製品を含めた配合提案を行います。



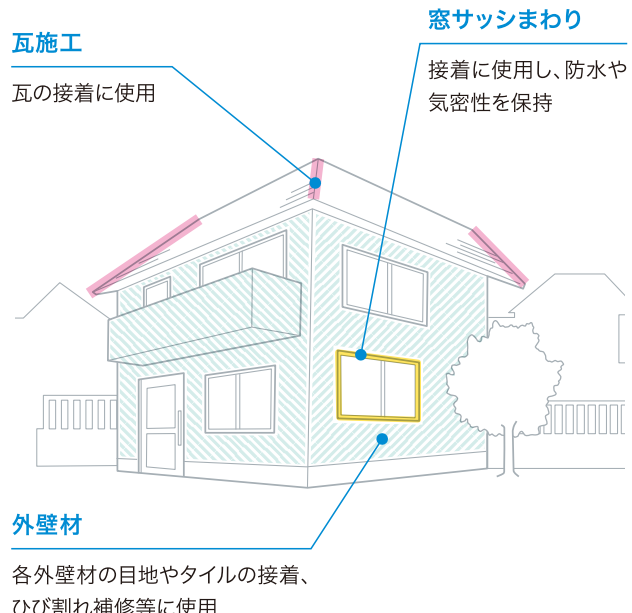
電子機器・ 電気機器向け原料

スマートフォン・各種工業用途での電子基板製造に使用される薬液を中心に、電子材料業界への原料供給を行っています。



塗料

軽質炭酸カルシウムをはじめとする各種フィラーを中心に、お客様の目的・用途ごとに粒子径・表面処理・包装形態・コストなどの要求に応じた提案を行っています。



【製品・取り扱い商品例】

目的	取り扱い製品
粘性改善	軽質炭酸カルシウム、乾式シリカ、マイカ、タルク
力学物性改善	軽質炭酸カルシウム、シランカップリング剤
接着性	シランカップリング剤
耐候性	紫外線吸収剤、酸化防止剤
難燃性	水酸化アルミニウム、有機臭素系
脱水	シランカップリング剤、酸化カルシウム
熱伝導性	溶融シリカ
軟化	プロセスオイル
艶消し	重質炭酸カルシウム、長石
隠蔽性	軽質炭酸カルシウム、酸化チタン

代表事例



建築シーリング材向けのUFPC事業をグローバルに供給

建築材料に求められる長期保証のために、接着剤・シーリング材では高耐候性ポリマーが使用されます。白石工業は低モジュラス・高伸びの機能が付与されたUFPCの開発に成功しました。白石工業、Shiraishi-Omya GmbHは、世界中の接着剤メーカー・シーリングメーカーに、UFPCをグローバル供給しています。



Shiraishi-Omya GmbH (オーストリア)

エリア 日本/アジア/ヨーロッパ/アメリカ

業界 接着剤・シーリング材



アジアを中心としたプリント基板の原料供給

スマホやタブレット端末に使用されるプリント基板は、アジアでの生産が拡大しています。白石カルシウムでは、専門知識を備えたアジアの各営業拠点を通じ、その加工に使用される表面処理剤を中心に、大手プリント基板メーカーへの材料供給を行なっています。



エリア 日本/ベトナム/韓国

業界 電子・電気機器向け原料



グローバル調達による問題解決提案

白石グループでは、塗料の原材料として無機フィラーをはじめとするさまざまな原材料を取り扱っています。国内生産品のみならず、海外生産品の輸入により国内で入手が難しい原材料の供給を手掛けています。取扱商品が豊富であることを強みに、さまざまな提案が可能です。遊離性シリカを含まない安全な艶消顔料の提案により、お客様の問題解決に貢献しています。



エリア 日本/アジア/ヨーロッパ/アメリカ

業界 塗料

産業資材の製品・商品の詳細は公式ホームページの「LINE UP」各ページをご覧ください

接着剤・
シーリング材



電子



塗料



自動車資材

産業資材

生活資材

食品アグリ・ヘルスケア資材

日常のあらゆるシーンを快適に 影の立役者として暮らしに密着

生活に欠かせない紙類、毎日履く靴、雑誌を彩るインキなど、日用品から業務用まで、幅広く人々の暮らしを支えています。より豊かで便利な社会を実現するため、それぞれの機能性を向上させる多くの原材料を取り扱い、グローバルに供給しています。

〈 主なお客様の業界 〉

紙

軽質炭酸カルシウム、重質炭酸カルシウム、カオリンの3大白色顔料の幅広い製品ラインナップを取り揃えることで、多様化するニーズにお応えしています。



印刷インキ

オフセット、グラビア、フレキシ、UVインキ等で、体質顔料として流動性、光沢の調整に使用される、炭酸カルシウムをはじめとした多種の無機顔料を取り扱っています。



履物

サンダルやスポーツシューズ用に使用される、各種ポリマー、フィラー、添加剤を取り扱っています。世界的ブランドシューズにも。



手袋

世界中で需要が増加する手袋産業向けにポリマー、添加剤を取り扱っています。医療用、工業用、家庭用に幅広く利用されています。



樹脂

メガネに使用されるプラスチックレンズの原料となるモノマー、色素、紫外線吸収剤等を幅広く取り扱い、世界のレンズメーカーに納入しています。



生活資材の製品・商品の詳細は
公式ホームページの「LINE UP」各ページで
ご覧いただけます

インキ



製紙



繊維



樹脂



代表事例



3大白色顔料を日本・中国・インドネシアに供給

紙パルプ産業で使われる「重質炭酸カルシウム」「軽質炭酸カルシウム」「カオリン」の3大白色顔料を取り扱っています。米国ジョージア州にあるシールカオリン社のカオリンを取り扱っており、日本及び、中国、インドネシアにおいても販売代理店として活動。その他の製紙用薬品も扱っています。



エリア 日本/中国/インドネシア

業界 紙



フィラー加工を通じたカスタマイズ製品の提供

広島県庄原市にある東洋ファインケミカルは、白石グループの高品質、高白度重質炭酸カルシウムの製造を担い、主に壁紙用、パイプ用などの建築資材関連への販売を行っています。同業他社と比べて小規模な製造ラインですが、小ロット生産を活かしたモノ作りを行うことで、お客様の要望に応じた粒子径分布にアレンジした製品を提供しています。また、そこで培われた粉砕、分級技術を活用し、重質炭酸カルシウム以外の様々なフィラーにおいて、各種表面処理や分級・ブレンドなどの加工も行っています。



東洋ファインケミカル

エリア 日本

業界 プラスチック、シーリング材、塗料



ゴム手袋用途で各種開発に取り組む

世界の衛生基準が年々高まる中、需要が拡大するゴム手袋は、東南アジアが世界の工場。白石カルシウムは長年のネットワークと知見を活かして、ゴム手袋用合成ラテックスや表面処理剤、各種フィラーの開発に取り組んでいます。



白石カルシウム(マレーシア)

エリア 日本/マレーシア/
インドネシア/タイ

業界 手袋

自動車資材
産業資材
生活資材
食品アグリ・ヘルスケア資材

安心安全で高品質な製品開発で 人々の食と健康を支える

白石グループ設立以来、長年に渡る知見と技術により、食品の川上から川下、医療関連まで、幅広く安心安全かつ高品質な原材料を提供しています。専用工場で製造している自社製品のほか、優れた海外商品の輸入販売提案も行っています。※食品専用工場についてはこちらを参照→P5

〈 主なお客様の業界 〉

食品

主原料からみりん類、エキス調味料など、水産加工をはじめとする加工食品向けに、幅広い選択肢を提示することで、日本の食卓を豊かにしています。



農材

炭酸カルシウムをはじめ、各種カルシウム剤を開発し、農産物の品質向上に貢献。苦土石灰肥料のパイオニアとして日本農業の発展に寄与しています。



食品添加物

即席麺や加工食品の栄養強化、食感調整として、安全高品質な食品添加物用炭酸カルシウムを供給しています。



畜産

炭酸カルシウムを応用した家畜の混合飼料を開発し、油脂製剤をはじめ海外の優れた飼料添加剤を輸入販売。混合飼料で日本の畜産業界の発展に貢献しています。



歯みがき剤

ヘルスケア製品である歯みがき剤に、研磨・清掃・白さ付与として、安全・高品質な炭酸カルシウム製品が使用されています。



食品アグリ・ヘルスケア資材の製品・商品の詳細は公式ホームページの「LINE UP」各ページでご覧いただけます

食品



農材



畜産



生体・バイオ



代表事例



乳牛・肉牛向けに栄養補給を目的とした混合飼料を製造

北海道苫小牧市にあるアグロケミテック 北海道工場は、家畜（主に牛）向けにミネラル・ビタミン補給を目的とした混合飼料を製造しているA飼料専用工場です。炭酸カルシウムを主体に多種多様な原料を用いて、乳牛・肉牛向けに、粉体品・ペレット品の製造と販売を行っています。製品には一般汎用品からユーザー専用の指定配合品まで多岐に渡ります。



アグロケミテック 北海道工場

エリア 日本

業界 畜産



ヘルスケア用途としての機能性炭酸カルシウム

大分県津久見市にある津久見工場では、ヘルスケア、特にオーラルケア用途として、従来の研磨・清掃・白さ付与に加え吸着の機能を有した炭酸カルシウムやリン酸カルシウムを取り扱っています。食品添加物工場の白石工業 富士川工場は、品質及び衛生面に充分対応した最新鋭工場として、ヘルスケア事業を担っています。



白石工業 津久見工場

エリア 日本

業界 歯みがき剤



農作物向けに苦土石灰肥料を製造・販売

熊本県八代市にある白雲石工業 八代工場では、野菜や果樹等の農作物向けに土壌pHの改良を目的とした苦土石灰肥料（粉状品と散布時の飛散防止や作業性を向上させた粒状品）や、配合飼料用原料・道路用アスファルト原料として利用される炭酸カルシウムの製造・販売を行っています。



白雲石工業 八代工場

エリア 日本

業界 農材

HISTORY

100年の歴史を経て白色の炭酸カルシウムが無限の可能性へ

炭酸カルシウムの開発と用途の開拓に積極的に取り組み続けて100年、
 今や当社が手掛けた炭酸カルシウム製品は身の回りのさまざまな場面で活用されています。
 アジアを中心に広げてきたネットワークは12か国に展開しており、
 今後もヨーロッパ諸国や北米・南米に広がっていきます。

■ エリア ■ 商材 ■ 用途

白石グループの創業者



白石恒二

白石正三

1919.11.23
白石工業株式会社設立

1921.09
桑名工場操業開始

1937.11.30
白石商事株式会社設立

1936.10
土佐工場操業開始

1932.10
白艶華工場操業開始

1949.11
星靴工業株式会社
(現 スターコンピューター
サービス株式会社) 設立

1949 着色剤
日弘色料工業株式会社
商品の取扱開始

1927 天然ゴム
「白艶華CC」発売



1935 畜産
家畜保健剤「コロイカル」発売



1911 歯みがき粉
白石式軽微性
炭酸カルシウムの
製造方法完成

1959.05.25
白石カルシウム株式会社
設立

1958.09
不二工場操業開始

1955.08
尼崎工場操業開始

1950
白石工業株式会社
本社研究所設立

1952 有機ゴム薬品
大内新興化学工業
株式会社と取引開始

1950 GCC
備北粉化工業株式会社
GCC輸出一手販売契約
締結

1952 合成ゴム
「カルモス」発売



1964.06
太陽化学工業株式会社
(現 白石工業株式会社
津久見工場)グループ参画

1961.07
碓氷第一工場操業開始

1965 プロセスオイル
出光興産株式会社と
特約販売契約締結

1965 カオリン
シールカオリン社と
販売代理店締結

1969 農材
「クレフノン」発売

1965 合成ゴム
「白艶華O」発売

1961 合成樹脂
「白艶華CC-R」発売



1975.04 韓国
韓石インターナショナル
株式会社設立

1974.04 台湾
台石股份有限公司設立

1973.06
東洋ファインケミカル
株式会社設立

1972.11
サンランド株式会社設立

1972.10
白雲石工業株式会社設立

1972.10
株式会社白石中央研究所設立

1970 カーボンブラック
旭カーボン株式会社商品の取扱開始

1977 紙
「Brilliant-15」発売



1984.03 シンガポール
シマンド・エンタープライズ
株式会社(現 白石カルシウム
(シンガポール)株式会社)設立

1983.04
サンランド船橋開業
(1989.02
京葉カマロ株式会社設立)

1982.11
Omya社、
備北粉化工業株式会社と
白石カルシウム株式会社
WGCC生産技術提携

1985 インキ
「白艶華T-DD」発売

1982 合成樹脂
「Vigotシリーズ(10、15)」発売



1999.02 ベトナム
ホーチミン出張所開設

1998.01 タイ
白石カルシウム(タイランド)
株式会社設立

1996.08 インドネシア
白石カルシウムインドネシア
株式会社設立

1994.10 中国
上海東武橡膠中心有限公司設立

1993.03
アグロケミテック株式会社設立

1992.08 マレーシア
白石マレーシア株式会社
(現 白石カルシウム(マレーシア)株式会社)設立

1990.08 フィリピン
マニラ出張所開設

1997 シリカ
シベルコ社 シリカ粉体
輸入販売開始

1994 石英
高純度石英(ユニミン社)
輸入販売開始

1995 シーリング材
「Viscolite-OS」発売

1993 食品
「カルエッセン-A」発売



2007.12
富士川工場操業開始

2007 欧州
Shiraishi-Omya GmbH設立

2005.06
タイ・アマタ倉庫完成

2003.08
白石カルシウム(上海)
国際貿易有限公司設立

2010.07
白石カルシウム(香港)
有限公司設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立



2022.01 アメリカ
Shiraishi America
Incorporated設立

2018.01 メキシコ
メキシコシティ出張所開設

2015.03
白石オートプロファイルズ
(タイランド)株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.07
白石カルシウム(香港)
有限公司設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2010.09 インド
白石カルシウム(インド)
株式会社設立

2014 シーリング材
「Viscolite-EL20」発売

2008 シーリング材
「白艶華(Shiraishi-Omya GmbH品)」販売開始

2001 シーリング材
「Viscoexcel-30」発売



1910 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020

社会の動き

1918 スペインかぜ流行
1920 大戦景気(大正バブル)終わる
1923 関東大震災
1926 昭和と改元
1929 世界恐慌はじまる

1931 ドイツのルカスが電子顕微鏡を発明
1939 第二次世界大戦はじまる

1941 真珠湾攻撃
1945 広島・長崎に原爆投下
1947 日本国憲法施行
1949 1ドル=360円の単一為替レート実施

1950 朝鮮戦争はじまる
1957 合成ゴムの国産化を目指して日本合成ゴム(現JSR(株))設立

1960 石油輸出機構(OPEC)結成
1961 農業基本法公布
1964 東京オリンピック開催
1966 いざなぎ景気はじまる
1968 GNP世界第2位に
1969 人類初の月面着陸

1970 日本万国博覧会開催
1973 第一次石油危機
1979 第二次石油危機

1980 日本の自動車生産台数世界一位に
1985 ブラザ合意
1986 バブル経済はじまる
1989 平成と改元

1990 バブル経済崩壊
1993 EU発足
1994 関西国際空港開港
1995 阪神・淡路大震災
Windows95発売
1997 アジア通貨危機

2001 アメリカで同時多発テロ発生
2005 京都議定書発効
2007 iPhone発売
2008 リーマンショック

2011 東日本大震災
2014 消費税8%に引き上げ
2016 熊本地震
2019 令和と改元

SHIRAISHI GROUP

From 0 to 1∞ A Colorful World Awaits

0 から 1∞ へ。シロ から イロ へ。

0から始まった私たちは炭酸カルシウムを原点に100年間多くのものを生み出してきた。

これからも **素材の無限の可能性** を追求していく。

白色の炭酸カルシウムが **彩り豊かな身近な暮らし** へ変化を遂げるように、

一人一人が持つ色を 彩り豊かなグループへ

白石グループはこのスローガンを指針としてゆき、
グループ中期経営計画を実行してまいります。

Top Message

炭酸カルシウムの開発と用途の開拓に積極的に取り組み続けて100年、その存在を直接感じることはなくても、今や当社が手掛けた炭酸カルシウム製品は身のまわりのさまざまな場面で活用されています。

ここまで用途の幅が広がったのも、炭酸カルシウムの粒子の形状はもちろん大きさや表面性質を変化させる技術があったからこそと言えます。

これによって、炭酸カルシウムと他素材との結びつきをニーズに応じて調整することが可能になりました。

ゴム、プラスチック製品の補強性や紙の光沢など、最終製品の要求特性を自在にコントロールする。当社の仕事は、ミクロの表面でマクロの技術を支える。すなわち「表面」にこだわる仕事であると表現できるかもしれません。

「テクノロジーとは、それ自体が独立したものではなく、人々の生活をより良いものにするために存在する」。当社の担うべき役割は正にここにあります。

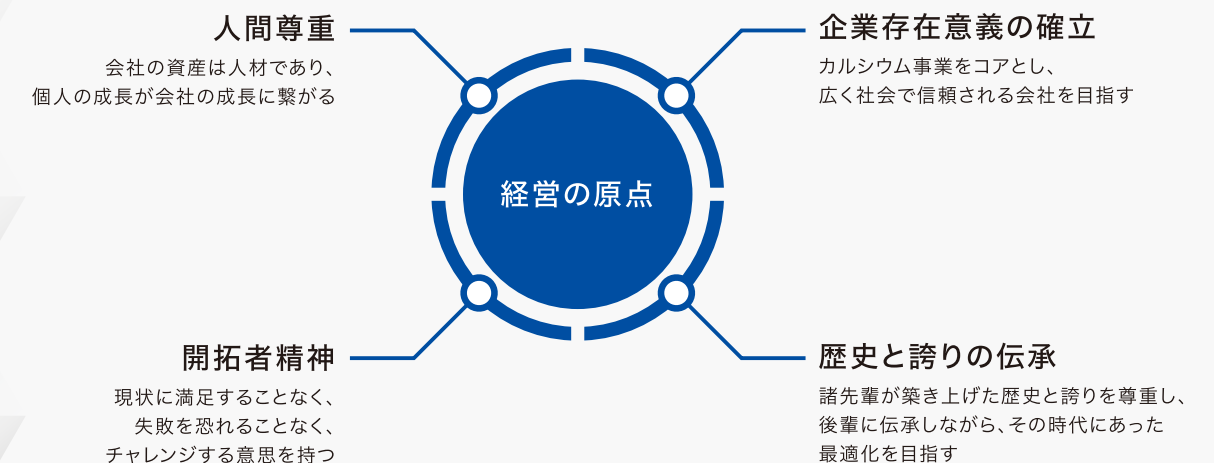
「表面」の技術を土台にモノとテクノロジーを結びつけて新しい機能を創る。白石グループは、今後もこのような形で社会に貢献し続けていきたいと考えています。

白石工業株式会社 代表取締役

白石 恒裕

白石グループの理念・ビジョン

「100年の計画の礎を企画せよ」



白石グループは炭酸カルシウムを中心とした化学品製造販売の事業だけでなく、スポーツやITソリューション事業など、多彩なサービスも提供しています。

スポーツ事業(ゴルフ練習場・テニス)

サンランド株式会社 (サンランド武庫川)

兵庫県尼崎市にある、大型ゴルフ練習場と会員制のテニスクラブを兼ね備えた総合スポーツセンター「サンランド武庫川」を運営しています。

天然芝を配置し、ゴルフコースに近い環境を演出している大型ゴルフ練習場は、128のゆとりある打席スペースのほか、本格仕様のパター&バンカー練習場もあります。テニスコートは8面完備。カジュアルなレストランやダンロップ直営のプロショップ、各種スクール等も実施しています。



公式HP(サンランド武庫川): www.sunland.co.jp



京葉カマロ株式会社 (サンランド船橋)

千葉県船橋市にある、大型ゴルフ練習場「サンランド船橋」を運営しています。

最長230ヤードのフェアウェイ練習場、コースで役立つグリーンとバンカー練習場、1階と2階合わせて最大92打席、練習打席を完備しています。各種ゴルフスクールも開校しています。



公式HP(サンランド船橋): www.sunlandgolf.jp



ITソリューション事業(リース・保守メンテナンス)

スターコンピューターサービス株式会社

コンピューター機器の販売、インフラ構築および保守を行っています。

公式HP: www.shiraishi.co.jp/starcs



その他、白石グループに関する最新情報・詳細は、公式ホームページをご覧ください。

白石グループ公式HP



採用サイト

